

学校教育目標 『自主 協力 継続』	 <h1 style="font-size: 4em; color: #0070C0;">絆</h1>	学校だより No. 4 令和4年6月8日
自主 自ら学び、考え、行動する生徒 協力 協力し、励ましあう生徒 継続 ねばり強く、努力する生徒		市川市立第八中学校 校長 岡 良和

八中学校運営協議会報告 開催：5月16日(月)

議題1 令和4年度学校経営方針について

～ 新委員6名を迎え、前年度3月の本協議会で承認された経営方針を再確認しました ～
 ※経営方針は、学校だより：「絆 No.1」および学校 HP に掲載しています。

議題2 八中の制服見直しについて

～ 市校則・制服ガイドライン制定を機に、制服について、2回目の意見交換を行いました ～

○制服の見直しに係る：キーワード 1 **機能性** 2 **多様性** 3 **経済性**

◆世の中が画一的でなくなってきた。会社でもスーツを着なくてもよく、ネクタイをしなくてもよくなっている。制服についても様々な意見があって当然。アンケートを実施することなので、結果を待ちたい。制服を変更する、しない、どちらにしても「絶対に全員が納得する」という結果はないだろう。◆経済性を重視したい。制服のリサイクルも考えてみてよいのではないか。制服の見直しは当事者である子供たちの意見を大切にしてほしい。◆卒業時に着なくなった制服・ジャージを寄付していただいている。急に入り用になったときなど助かっている。◆学校では、コロナや熱中症対策のためジャージ・体操服で登校してよい期間を増やしている。このことについて、先月、生徒会本部生徒と教員で話し合いを持ったところ、生徒から「行事など、日によっては、制服に統一したい」という意見が出た。例えば、「式典、定期試験、入試関連などのときは、制服の方が好ましいのではないか」ということだった。また、「地域住民の方々の見目を意識すべき」など、しっかりした考えを持っている生徒が多かった。◆制服を変えるのは賛成だが、学ラン、セーラーは着崩れが見えにくい利点がある。ブレザータイプにした場合、ネクタイがゆるんで、だらしく見えないように指導が要る。◆制服と合わせて八中カバンの見直しも必要ではないか。◆指定カバンをやめて、リュックタイプの既製品を各自で選んで購入することで進めていく。◆多様性という点から考えると、子供たちがスカートとパンツから選べるということが素晴らしいと考える。◆ブレザーでネクタイ・リボンがだらしくなってしまう、ということで、ワイシャツではなく白いポロシャツで、市販の物をどこで買ってもよいという中学校がある。見た目もきちんとして過ごしやすく、しかも安価にできるので検討してほしい。◆生徒会の子供たちの制服に対する考え方がしっかりしていて素晴らしい。◆制服見直しの報道をよく目にする。時流に乗って見直すのもよい。また、購入ではなく、貸し出しという方法もあるのではないか。◆制服に関連して女子が着替える場所を設けられないか。暑い日に、スカートの下にハーフパンツを着て大変。◆暑さ対策のために、ジャージ・体操服登校の期間を設定する学校が多くなっている。八中でも気候に合わせてハーフパンツと体操服で登下校できるようにして熱中症対策としている。◆体が大きくなって買い替えること、スカートとパンツ両方を購入して着まわすことに対応できるように、できるだけ安価なものにしてほしい。◆制服、コートを掛ける場所があると良い。教室が狭いのでしかたないのかもしれないが、改善点として考えてほしい。◆ネクタイ・リボンが、だらしくなるのでは、という点は、学校と家庭で指導できる部分ではないか。指定でなく既製品で安価に揃えるのは魅力的。ネクタイ・リボンで八中とわかるようにしたい。◆量販店で既製品のジャケット・パンツなどで揃える場合、サイズが限られることや、品切れ、モデルチェンジの場合の対応が困難なことがデメリットである。◆保護者と子供たちの意見を把握するためのアンケ

ートが必要。◆市川市でも制服の在り方を考えるプロジェクトチームを編成する。その際には、学校からの意見を寄せてほしい。◆市川工業高校では3年くらい前に制服を変えた。女子はスカートとスラックスが半々くらいである。女子のリボンはあるが、つけたり付けなかったり、だらしくなったりしたため、現在は付けさせていない。暑さ対応の観点からも、ネクタイ・リボンの必要性が薄れている。◆今後、小学校も含めて、保護者、児童・生徒からアンケートをとり、方向性を決める。

令和4年度学校運営協議会委員 稲葉保(県立市川工業高等学校長) 石井裕昭(京葉ガス株式会社) 戸田悦子(民生委員) 角谷好枝(市川市統括コーディネーター) 喜々津信恵(学校支援コーディネーター) 水嶋雅(元小学校校長) 二村順子(前PTA役員) 平田朋子(前PTA役員) 大町吉彦(PTA会長) 錦織麻子(PTA 副会長)
 学校代表者(校長・教頭・教務主任) **市教委**: 学校地域連携推進課担当者

※学校運営協議会は、公開義務があり、傍聴が可能です。
 傍聴希望および今後の日程等については、学校(担当:教頭)までお問い合わせください。

市川市教育委員会からお知らせ ～ マスクの着脱について ～

千葉県ガイドライン改訂を受けて、市川市「新たな学校生活スタイルガイドライン」を改訂しました。今回の改訂の中からマスクに関する内容についてまとめましたので、ご確認ください。

◆熱中症などが発生するおそれがあるので、次の場合は、積極的にマスクを外す。

・特に呼気が激しくなる運動 ・気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日の屋外の活動

(マスクについての留意点)

- ・屋内(教室等)では、基本的にマスクを着用する。(2m以上の身体的距離をとることが難しいため)
- ・身体的理由等でマスクの着脱が困難な場合もあることから、マスクの着脱などによる偏見や差別が生じないように十分配慮する。
- ・マスクの取り外しについては、活動の態様や児童生徒等の様子なども踏まえ、現場で臨機応変に対応する。特に、基礎疾患を有するためマスクの着用が困難である等の場合は、主治医や学校医とも相談の上、適切に対応する。
- ・マスク着用時でも、定期的に水分補給する等、脱水や熱中症に注意する。
- ・気温、湿度や暑さ指数が高くない日に、呼吸が激しくならない軽度な運動を行う際、児童生徒がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではないが、児童生徒等の体調の変化に十分注意する。

コロナ禍の第一波以来、2年以上にわたり、国民全体でマスク着用が習慣化しました。一度身に付いた習慣を変えることで、子供によっては安心感を損なったり、気分が落ち着かなくなったりすることがあります。「マスクは、顔の一部」「マスクをとるのは、はずかしい」という声も聞かれます。暑さ本番が近づく今、次のように、周囲の状況に応じてマスクの着脱をコントロールする、新たな習慣が求められます。

人が近くにいない ⇒ マスクをはずしましょう
 屋外など換気が良好な場所

人が近くにいる ⇒ マスクを付ける
 換気が不十分な場所 大声をひかえる

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.7

令和4年 7月19日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすくレイアウト変更しました☆

第二回学校運営協議会報告 <7月12日開催:協議内容>

これからの時代の制服について

八中では、現制服(学ラン・セーラー)の見直しを検討する時期と考えています。本会議でも過去2回にわたり、昨今の社会情勢を伺い、委員の皆様と今後の制服のありかたについて協議してまいりました。

6月には、2学年生徒・保護者に「制服について、どれが適切と思うか」との意識調査を実施し、参考にすることとしました。

	生徒	保護者
学ラン・セーラー	22.9%	23.9%
男女兼用指定制服	31.3%	34.3%
男女兼用標準スタイル	9.9%	29.9%
私服	33.6%	8.2%
その他	2.3%	3.7%

また、生徒の考え方を反映す

るために、生徒会本部役員と校長で「八中の後輩たちに着てほしい制服」について座談会を行っています。(3回実施し、今後も継続予定)

制服の見直し検討の際、引き続き次の三つのキーワードを中心に協議してまいります。

①機能性

◇着やすさ、着心地(学ランの窮屈さ、セーラーの脱ぎ着しづらさの解消) ◇洗濯など扱いやすさ ◇素材(伸縮性、撥水性、抗菌加工等)

②多様性

◇様々な考え方や性的マイノリティー等への対応 ◇スラックスとスカートを選べる男女兼用タイプ導入(中学校入学時期に、スカートを着る抵抗感から不登校

になる女子の事例が全国的にみられる 八中でも男女兼用制服の必要性が問われる事例がみられる) ◇ネクタイ、リボンについて「不要」「ネクタイに統一」「着脱を自由に選べる」などから検討

③経済性

◇今の学ラン、セーラーの価格より、できるだけ安価なものを選定 ◇円安と急激な物価上昇を懸念し、制服メーカーが値上げを打ち出す前に価格交渉を始める ◇姉から弟へ、卒業生から在校生へ、ブレザー、スラックスの着回しができるなど、男女間のリユースの可能性を検討

三つのキーワードに加えて、◇冬服上下のモデルを決めた後に、それに合わせるワイシャツ、ポロシャツ、ネクタイ、リボン、夏服などオプションパーツの取り扱い方を検討

◇夏服については、暑さ対策として体操服・ジャージ登校を認めることが定着し、着る機会が少ないため、必要性の有無について検討

以上のことに留意し、教職員、在校生・保護者、ブロック小学校5,6年児童・保護者に制服メーカー3社のサンプルと機能性・多様性対応・価格の面から比較ができる資料を提示し、意識調査をアンケート形式で行い、結果分析から、今後の制服選定の参考にすることといたしました。

また、制服メーカーの材料準備および採寸・製造に要する期間の関係から、毎年秋ごろには、次の年度の制服モデルを発注しています。制服モデルチェンジの時期を決める際には、この条件も考慮してまいります。

なお、仮にX年度新入生からモデルチェンジするとして、在校生は、現行の学ラン・セーラーを卒業まで使用しますが、在校生のご家庭から「モデルチェンジした制服を着たい」というご相談があった場合の対応も今後検討することとします。

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.10

令和4年 10月 5日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

学校運営協議会 9/16 (金)

新制服検討部会報告

これまで、学校運営協議会をはじめ、学校・保護者・小学校児童・保護者等、地域関係者により「これからの時代の制服」について、

機能性 **多様性** **経済性** をキーワードに検討・協議を重ねてまいりました。

7月に、八中生徒・保護者、9月にブロック小学校高学年児童・保護者に、大手制服メーカー3社のサンプル製品を提示し、様々な視点からの意識調査をアンケート形式で行いました。

また、生徒会本部生徒と校長で、制服についての座談会(計4回実施:八中ブログ参照)を行い、その内容も参考といたしました。

■■■■ アンケート結果 ■■■■

～ 八中 生徒・保護者 ～

問1 経済性について

◇「現行価格より値下げ」を望む傾向が見られ保護者の方が、その傾向が顕著であった。

問2 多様性対応について

◇「女子用スラックス導入」を望む傾向が見られ、保護者で、その傾向が顕著であった。

問3 サンプルA社、B社、C社どれがよいか

◇生徒は、C社を選ぶ傾向が見られ、保護者は、顕著な傾向が見られなかった。

◇「どれでもよい」という傾向が、生徒に比べ、保護者に見られた。

～ ブロック小学校 児童・保護者 ～

問1 制服を選ぶときに重要と思うこと

◇「機能性」、「経済性」、「男女兼用(スラックス・スカートを選ぶ)」、「デザイン」の視点は、どれも重要と思う傾向が、児童・保護者ともに見られた。

◇とくに男子の保護者に、「経済性」が重要と思う傾向が見られた。

問2 制服サンプル(A社、B社、C社)について

◇「デザイン」「機能性」の視点から C社、「価格」の視点から B社を選ぶ傾向が、児童・保護者ともに見られた。

◇とくに、B社を選んだ保護者に、「価格」の面から選んだ傾向が、顕著に表れた。

問3 スラックス・スカートの柄について

◇男子(児童・保護者の合計)は、「無地 > 選べる > チェック柄」の順で、望む傾向が見られた

◇とくに男子児童で無地を望む傾向が顕著に見られた。

◇女子(児童・保護者の合計)は、「チェック柄 > 選べる > 無地」の順で、望む傾向が見られた。

◇とくに女子は、児童、保護者ともにチェック柄を望む傾向が顕著に見られた。

以上を参考に、メーカーを選定するためのプレゼンテーション・コンペを実施したので、経過報告いたします。

プレゼンテーション・コンペ結果

OB社「(株)明石スクールユニフォーム」を指定メーカーとし、「ジャケット、スラックス、スカート等」の提供契約を交わすこととする。

○今後は、B社のサンプルをもとに、スカートのチェック柄など、デザイン面の変更を行い、新制服「NEW 八中スタイル」を決定する。

機能性についての検討

○3社の比較は、一長一短で大差なく、甲乙つけがたい。

OB社から、アレルギーなど肌が敏感な生徒用の服地対応の追加説明があったことを評価に加えた。

多様性対応について検討

○3社ともジェンダーレス対応にかなっていることを評価した。

経済性(価格)について検討

○現行の八中制服価格「学ラン28,500円・セーラー34,500円」を下回る価格設定をメーカーに要望してきたが、B社の参考価格が、その要望を満たすとともに、3社の中で、最も低価格であることを評価した。

※市内6中学校との価格比較(税込)

ジャケット + スラックスの価格

6校の平均 約35,000円

B社 約26,000円

ジャケット + スカートの価格

6校の平均 約35,000円

B社 約30,000円

その他

○3社から、スカートのチェック柄など、デザイン面の変更オーダーに応じる説明があったことを評価に加えた。

OB社の受注方法及び納品後のアフターサービスが優れていることを評価に加えた。

今後の方針について

○スカート柄・ネクタイ・リボンのデザインについてアンケートを実施する。

○新制服導入時期を令和5年度からとし、学ラン、セーラーの着用を可能とする移行期間を3年程度設定する方向で検討する。

○夏服の扱いについて、夏季は、暑さ対応の視点からハーフパンツ、体操服、ジャージで登校可とすることを前提に、アンケート結果を考慮し、新制服のスラックス、スカートに半そでワイシャツ、ポロシャツをコーディネートする方向で、今後検討する。

○ネクタイ、リボンの扱いについて、アンケート結果を参考に今後検討する。

新制服検討部会出席者

石井裕昭(京葉ガス株式会社) 戸田悦子(民生委員) 角谷好枝(市川市統括コーディネーター) 喜々津信恵(学校支援コーディネーター) 水嶋雅(元小学校校長) 二村順子(前PTA役員) 錦織麻子(PTA副会長) 学校代表者(校長・教頭・教務主任・生徒指導主事)

「八中ブログ」👍 いいね! で、つながろう

八中ブログでは、生徒の生活や学習の様子、お役立ち情報を日々更新してまいります。

ブログの👍 マークをタップして「いいね!」カウントを増やすことで、学年や部活の枠を越え、「チーム八中」みんなで応援し合い、心がつながる瞬間を増やしたいと考えています。

地域・保護者のみなさまも「いいね!」カウントアップをお願いいたします。

八中ブログ 🔍 検索

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>